報告書の記入要領

●□□□で表示された枠（記入枠）に記入する文字は、光学的文字・イメージ読取装置(ＯＣＩＲ)で直接読み取りますので、用紙を汚したり、穴をあけたり、必要以上に折り曲げたりしないでください。
●記入枠の部分は、黒のボールペンで、枠からはみ出さないよう注意して、大きめのアラビア数字ではっきり記入してください。
●記入すべき事項のない欄・記入枠は、空欄のままにしてください。

●「対象物等の用途」が9つ以上ある場合には、2枚目を使用してください。その際、「総ページ」欄には、報告書の合計枚数を記入し、「ページ」欄には、総枚数のうち、この用紙が何枚目かを記入してください。
なお、2枚目以降については、「労働保険番号」「事業の種類」「労働者数」「事業場の名称」「事業場の所在地」「ばく露作業報告対象物の名称」「対象年」欄は、記入する必要はありません。
●押印の代わりに、署名でも構いません。

様式第21号の7（第95条の6関係）（表面）

8 2 0 0 2

有害物ばく露作業報告書

ページ □□/総ページ □□

労働保険番号		事業場の名称	
事業の種類	労働者数　人	事業場の所在地	郵便番号（　） 電話（　）

ばく露作業報告対象物の名称	名称	コード □□□	対象年 （平成→ 元号 □ 年）

	対象物等の用途	ばく露作業の種類	対象物等の名称	年間製造・取扱い量	作業1回当たりの製造・取扱い量	対象物等の物理的性状	対象物等の温度	1日当たりの作業時間	ばく露作業従事者数	発散抑制措置の状況（右に詰めて記入する。）
1	□□	□□ 50の場合は具体的に（　）		□	□	□	□	□	□	□□ 5の場合は具体的に（　）
2	□□	□□ 50の場合は具体的に（　）		□	□	□	□	□	□	□□ 5の場合は具体的に（　）
3	□□	□□ 50の場合は具体的に（　）		□	□	□	□	□	□	□□ 5の場合は具体的に（　）
4	□□	□□ 50の場合は具体的に（　）		□	□	□	□	□	□	□□ 5の場合は具体的に（　）
5	□□	□□ 50の場合は具体的に（　）		□	□	□	□	□	□	□□ 5の場合は具体的に（　）
6	□□	□□ 50の場合は具体的に（　）		□	□	□	□	□	□	□□ 5の場合は具体的に（　）
7	□□	□□ 50の場合は具体的に（　）		□	□	□	□	□	□	□□ 5の場合は具体的に（　）
8	□□	□□ 50の場合は具体的に（　）		□	□	□	□	□	□	□□ 5の場合は具体的に（　）

年　月　日

事業者職氏名

労働基準監督署長殿

印

受付印

「事業の種類」
日本標準産業分類の中分類に準じて記入してください。

「ばく露作業報告対象物の名称」
３～５ページを参照して、報告を行う物（ばく露作業報告対象物）の**名称**と**コード番号**を記入してください。「対象年」は**731**と記入してください。

「対象物等の用途」
ばく露作業報告対象物またはこれを含有する製剤その他の物（ばく露作業報告対象物等）の用途ごとに、８ページの**別表１**に掲げる区分に応じて、該当するコードを記入してください。

「ばく露作業の種類」
ばく露作業報告対象物等を製造し、または取り扱うことによりばく露するおそれのある作業（ばく露作業）について、８ページの**別表２**に掲げる区分に応じて該当するコードを記入してください。
コード30から49までのいずれにも該当しない場合は、「50」と記入の上、具体的なばく露作業の種類を記入してください。

「対象物等の名称」
ばく露作業報告対象物等の名称を記入してください。
なお、ばく露作業報告対象物を含有する製剤その他の物（対象物含有製剤）の名称については、事業者がその対象物含有製剤の用途、一般名などをもとに「めっき液」「シンナー」「接着剤」など適当な名称を記入してください。

「年間製造・取扱い量」
報告の対象年におけるばく露作業報告対象物の製造量または取扱量について、次のうち該当する番号を記入してください。
なお、対象物含有製剤を製造し、または取り扱う場合におけるばく露作業報告対象物の製造量または取扱量は、その対象物含有製剤ごとの製造量または取扱量にばく露作業報告対象物の含有率を乗じて算出してください。

1. 500kg未満　2. 500kg以上１t未満
3. １t以上10t未満　4. 10t以上100t未満
5. 100t以上1,000t未満　6. 1,000t以上

「作業1回当たりの製造・取扱い量」
固体は質量、液体は体積、気体はその物質が液化する温度下における体積を算出し、次のうち該当する番号を記入してください。
なお、対象物含有製剤を製造または取り扱う場合のばく露作業報告対象物の作業1回当たりの製造量または取扱量は、その対象物含有製剤ごとの作業1回当たりの製造量または取扱量にばく露作業報告対象物の含有率を乗じて算出してください。

1. １kg未満または１ℓ未満
2. １kg以上１t未満または１ℓ以上１kℓ未満
3. １t以上または１kℓ以上

「対象物等の物理的性状」
ばく露作業におけるばく露作業報告対象物等の物理的性状について、次のうち該当する番号を記入してください。

1. ペレット状の固体
2. 結晶または粒状の固体
3. 微細・軽量パウダー状の固体
4. 液体（練粉、液状混合物を含む）
5. 気体

「対象物等の温度」
ばく露作業時のばく露作業報告対象物等の温度について、次のうち該当する番号を記入してください。

1. 摂氏０度未満
2. 摂氏０度以上25度未満
3. 摂氏25度以上50度未満
4. 摂氏50度以上100度未満
5. 摂氏100度以上150度未満
6. 摂氏150度以上

「発散抑制措置の状況」
発散抑制措置の状況について、次のうち該当する番号を記入してください。
なお、いずれにも該当しない場合は「５」とし、具体的な発散抑制措置の状況をカッコ内に記入してください。また、２つ以上に該当する場合は、その番号が小さいものから順に２つ選択して記入してください。

1. 密閉化設備の設置　2. 局所排気装置の設置
3. プッシュプル型換気装置の設置
4. 全体換気装置の設置　5. その他

「ばく露作業従事者数」
ばく露作業に従事していた１日当たりの労働者数について、次のうち該当する番号を記入してください。

1. ５人未満
2. ５人以上10人未満
3. 10人以上20人未満
4. 20人以上

「１日当たりの作業時間」
ばく露作業に従事していたすべての労働者の一人当たりの１日の平均のばく露作業時間数について、次のうち該当する番号を記入してください。

1. 15分/日未満
2. 15分/日以上30分/日未満
3. 30分/日以上１時間/日未満
4. １時間/日以上３時間/日未満
5. ３時間/日以上５時間/日未満
6. ５時間/日以上